

(Translation)

Case: JP35(1960)-24641U

Title: Pacifier

Applicant: Seitaro NAGAHARA, Japan

Brief Description of the Drawings:

Fig. 1 is a longitudinal sectional view of a pacifier of the present invention.

Fig. 2 shows a side view and a plan view of a plug member 1 made of a soft synthetic resin.

Claim:

A structure of a pacifier in which:

a hole 2 of a grip ring 5 is formed in one end of a plug member 1 of a soft synthetic resin;

the other end of the plug member 1 is formed into an elongated member 3 which is much longer than a conventional one, the elongated member 3 being inserted into a suction head 6 made of latex such that the elongated member 3 is close to an inner periphery of the head 8;

a part between a distal end of the elongated member 3 and the hole 2 is divided to form a longitudinally separated portion 4; and

a flange 7 is fitted to a proximal end of the suction head 8.

特許序
実用新案公報实用新案出願公告
昭35-24641

公告 昭35.9.24 出願 昭34.3.9 実願 昭34-13459

出願人 考案者 永原静太郎 大阪市阿倍野区阪南町中3の39
復代理人弁理士 吉川秀夫

(全2頁)

おしやぶり

図面の略解

第1図は本考案に係るおしやぶりの絶縁面図、
第2図は軟質合成樹脂製栓体1の側面及び平面図
である。

実用新案の説明

本考案は図面に示す如くゴム又は軟質合成樹脂製栓体1の一端には把持用リング5の嵌挿孔2を横設するとともに、他端ラテックス製吸引用頭部8への嵌入部3は從来品よりも遙に長く構成して頭部8先端内周に近接せしめ、嵌入部3先端より嵌挿孔2に至る間を絶縁4し、吸引用頭部8の基部には鋼線7を嵌合してなるおしやぶりの構造に係るものである。

元来おしやぶりはその柔軟なる弾性により嬰児に授乳時の感触を再現してこれをあらわすとともに、これが咀嚼により歯齦に適当な刺激を与え、乳歯の生成引いては歯の発達を促進するにある。然るに從来のおしやぶりは内蔵する空気の圧縮に伴う弾性と吸引用頭部を構成するラテックスの弾性の相乗作用により上記に目的を果さんとするものであるが、咀嚼に際しては柔軟性過大にして用をなさず、為に吸引用頭部に隆起条を配して弾性強化を図る等の考案がなされたが充分とは言えなかつた。

本考案は以上の欠點を補完せんとするものであつて、ラテックス製吸引用頭部8に嵌着せられた栓体1をゴム又は軟質合成樹脂となすとともに、その吸引用頭部8への嵌入部3を從来品よりも著しく長く構成して、嵌入部3先端を頭部8の先端内周に

近接せしめているから、前述の内蔵する空気圧縮に伴う弾性及び吸引用頭部8のラテックスによる弾性に加うるに栓体1一端嵌入部3のゴム又は軟質合成樹脂による弾性が加わり、過度の柔軟性は除却せられるものであつて、嬰児が咀嚼する際にには過度の弾性と柔軟性により噛みこたえあるものとなり、歯齦に適当なる刺激を与え、乳歯の生成引いては頭の発達を促進するものである。

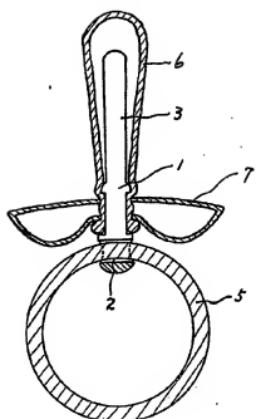
而して栓体1の嵌合部3を大きく吸引用頭部8に突入せしめたるも、栓体1はゴム又は軟質合成樹脂製にして可撓自在であり、内蔵する空気量も相当存するものであるから、嬰児が頭部8を吸引するも柔軟性を要うことなく授乳時の感触を保存するものであり、從来品に比し些かの遜色もないものである。

次に栓体1は嵌入部3先端より把持用リング5の嵌挿孔2に至る間を絶縁4として二つ割りとなしているから、リング5の取付け確実なるのみならず、嵌入部3が栓体1に一体化して極めて堅膜であり、該部の脱落等の虞れなく、栓体1の吸引用頭部8への嵌着は確実化するものである。

意匠請求の範囲

図面に示す如くゴム又は軟質合成樹脂製栓体1の一端には把持用リング5の嵌挿孔2を横設するとともに、他端ラテックス製吸引用頭部8への嵌入部3は從来品よりも遙に長く構成して頭部8先端内周に近接せしめ、嵌入部3先端より嵌挿孔2に至る間を絶縁4し、吸引用頭部8の基部には鋼線7を嵌合してなるおしやぶりの構造。

第1図



第2図

